

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
マンガ・アニメーション科 アニメーションコース											
プロダクションワーク 1											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	45	単位	3
担当教員	山下恵			実務 経験	有	職種	カラリスト				
授業概要											
コンセプトやターゲットユーザーなどから作品制作における基本的な考え方を学ぶ。											
到達目標											
色彩検定 3 級・色彩技能パーソナルカラー検定モジュール 1 取得につなげるスキルを習得し、色彩演習を通して色彩論を学びながら社会と個の仕組みも学んでいくことを目標とする。											
授業方法											
色彩の基礎知識と配色方法等を学び、センスだけに頼らない基盤をつくり、自分の作品に適用できるようになることを目的とする。また現場で表現・演出ができるようになることが最終目的である。											
成績評価方法											
試験と課題を総合的に評価する他、授業時間内に行われる発表方法、内容、また積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。											
履修上の注意											
授業の進行上はじめに説明することが多いので、なるべく遅刻しないようにすること。授業中の私語は説明が終わったあとは情報交換の観点から常識の範囲で許容するが、わからないところは遠慮なく教員に質問すること。実習課題を重要視するので、課題提出は必須である。授業時数の 4 分の 3 以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
資料を配布し、参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第 1 回	色で自己紹介										
第 2 回	色のでき方										
第 3 回	色の三属性										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
マンガ・アニメーション科 アニメーションコース	
プロダクションワーク 1	
第4回	色の不思議
第5回	色はなぜ見えるのか？
第6回	五感によるイメージ配色(1)
第7回	五感によるイメージ配色(2)
第8回	配色基本編(1)
第9回	配色基本編(2)
第10回	配色応用編(1)
第11回	配色応用編(2)
第12回	人と色(パーソナルカラー) (1)
第13回	人と色(パーソナルカラー) (2)
第14回	インテリア配色(1)
第15回	インテリア配色(2)

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
マンガ・アニメーション科 キャラクターデザインコース	
プロダクションワーク 1	
第4回	演習4：基礎演習トレースデータ演習1（ペンツール・線設定など）
第5回	演習5：基礎演習トレースデータ演習2（切抜き・重なり・レイヤーなど）
第6回	課題1：フォントorミニキャラデザインアイデア出し・コンセプト構築
第7回	課題1：フォントorミニキャラデザインラフ作成・スキャニング
第8回	課題1：フォントorミニキャラデザイン制作
第9回	課題1：フォントorミニキャラデザイン制作
第10回	課題1：フォントorミニキャラデザイン制作
第11回	課題1：フォントorミニキャラデザイン制作
第12回	講評&課題2：Portfolio演習作品全体講評、Portfolioの説明・構成・作品選び
第13回	課題2：Portfolio演習みんなで同じものを制作し今ある作品を配置する演習
第14回	課題2：Portfolio演習後期の本番デザインの練習
第15回	演習6：Portfolio演習全体講評後期に向けての演習、後期課題の予告

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
マンガ・アニメーション科 マンガコース											
プロダクションワーク 1											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	45	単位	3
担当教員	井上篤史			実務 経験	有	職種	コンテンツ制作				
授業概要											
作品を構成する要素を分解し、作劇技法や登場人物の元型、構図やライティング、色彩など、物語を成立させるために必要な技術と知識を習得する。それらを解説なしで読み解き、みずからの言葉で語ることができるようになることを学習目的とする。											
到達目標											
作品を鑑賞した後、リテラシーをリソースフルに活用し、内容の把握はもとより、演出にこめられた意図や見過ごしがちな技術を読み取り、それを論理的に構築して表現して自分のものとし、作品制作時に応用できるようになることを目標とする。											
授業方法											
毎回、映像作品や漫画作品を鑑賞し、絵と文章を用いたレポートを作成する。そのレポートが商業誌に投稿可能なものになることを目指す。											
成績評価方法											
作品鑑賞後、作成するレポートの内容について評価する。											
履修上の注意											
作品に込められた意図、演技プラン、構図など、細部への観察が必要なため、私語やスマートフォンの操作などは禁止する。											
教科書教材											
毎回、映像作品を上映する。授業によっては、著作権法に定める引用の範囲内において、資料を配布する。											
回数	授業計画										
第 1 回	作品鑑賞と課題制作。作品を鑑賞し、作品についての考察レポートを制作する。										
第 2 回	作品鑑賞と課題制作。作品を鑑賞し、アーキタイプ『ヒーロー』についてレポートを制作する。										
第 3 回	作品鑑賞と課題制作。作品を鑑賞し、第一幕から第二幕への押し出しについてレポートを制作する。										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
マンガ・アニメーション科 マンガコース	
プロダクションワーク 1	
第4回	作品鑑賞と課題制作。作品を鑑賞し、第二幕の理解についてレポートを制作する。
第5回	作品鑑賞と課題制作。作品を鑑賞し、第二幕の構成についてレポートを制作する。
第6回	作品鑑賞と課題制作。作品を鑑賞し、アーキタイプ『メンター』についてレポートを制作する。
第7回	作品鑑賞と課題制作。作品を鑑賞し、アーキタイプ『シャドウ』についてレポートを制作する。
第8回	作品鑑賞と課題制作。作品を鑑賞し、第二幕から第三幕についてレポートを制作する。
第9回	作品鑑賞と課題制作。作品を鑑賞し、コンテキストの重要性についてレポートを制作する。
第10回	作品鑑賞と課題制作。作品を鑑賞し、第三幕の理解についてレポートを制作する。
第11回	作品鑑賞と課題制作。作品を鑑賞し、制作の背景について理解できたか、レポートを制作する。
第12回	作品鑑賞と課題制作。作品を鑑賞し、プレゼン資料を作成する①
第13回	作品鑑賞と課題制作。作品を鑑賞し、プレゼン資料を作成する②
第14回	作品鑑賞と課題制作。作品を鑑賞し、観察力を鍛える。
第15回	まとめ。作品を鑑賞し、レポートを制作する。